

都市再生整備計画 事後評価シート
秩父市中心市街地地区

平成30年3月

埼玉県秩父市

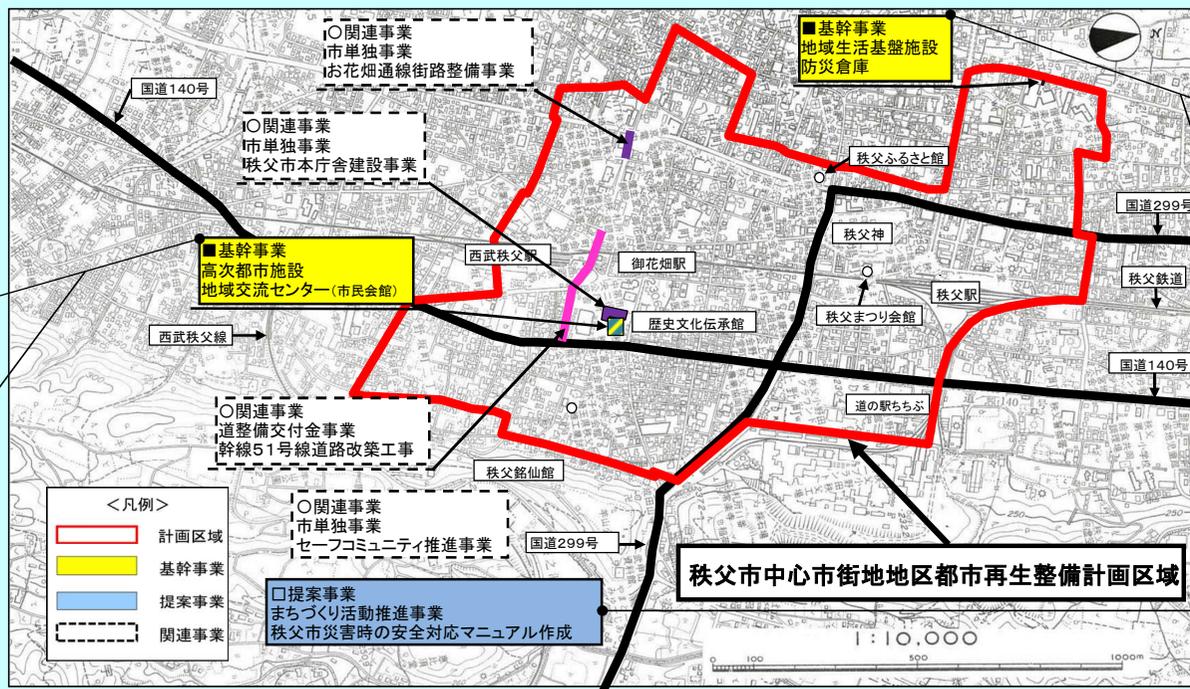
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県		市町村名	秩父市		地区名	秩父市中心市街地地区			面積	120ha	
交付期間	平成26年度～28年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	2,104百万円	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	防災倉庫(地域生活基盤施設)・地域交流センター(市民会館)(高次都市施設)									
		提案事業	秩父災害時の安全対応マニュアル作成(まちづくり活動推進事業)									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	なし									
	新たに追加した事業	基幹事業	なし									
提案事業		なし										
交付期間の変更	当初	平成26年度～28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		なし						
	変更	なし										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	防災訓練参加率	%	12.3	H25	13.5	H29	12.8	△	あり ● なし	市内6箇所(うち補助対象1箇所)に災害時に備えた「防災倉庫」を建設、また「災害時安全対応マニュアル」を各戸に配布できたことにより、市内の災害ハザードマップや避難経路の確認など地域住民の防災への意識が高まり、防災訓練参加者の増加につながった。また、高齢者など直接訓練に参加することができなかった住民へも、防災への備えにつながるものと考ええる。	H31.3
	指標2	地域交流センター(市民会館)ホール利用者数	人	71,610	H21	78,771	H29	73,438	△	あり ● なし	開館初年度であり、安全な管理・運営を行うための準備期間を数カ月取ったため、本格的な運用が遅れたが、事故・トラブルも無く運営ができた。次年度以降は、運営計画に則り年度当初からの運営が期待できる。	H31.3
指標3									あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	—										
	その他の数値指標2	—										
その他の数値指標3	—											
4)定性的な効果発現状況	—											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	市民会館建設市民ワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	—			
	住民参加プロセス	市民会館管理運営市民ワークショップ		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●	ワークショップの意見を踏まえ策定された「市民会館管理運営計画」に沿った運営を行う。			
	持続的なまちづくり体制の構築	—		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—	—			

様式2-2 地区の概要

秩父市中心市街地地区(埼玉県秩父市) 社会資本整備総合交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標: 災害に強く、地域住民が活発に交流活動できる都市づくり推進。 小目標①: 災害に備え住民が安心して生活できる環境の創出を図り、災害に強いまちづくりの実現を目指します。 小目標②: 多くの市民が積極的に交流活動を行うための施設環境の創出を図り、地域住民の自助、公助、共助の心を高め、地域コミュニティの活性化を目指します。	防災訓練参加率	単位: %	12.3 H25	13.5 H29	12.8 H29
	地域交流センター(市民会館)ホールの利用者数	単位: 人	71,610 H21	78,771 H29	73,438 H29
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H
		単位:	H	H	H



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 防災倉庫が整備され、万が一の大規模災害に備えられる地域づくりができた。 地震被害想定調査を反映した秩父市災害時の安全対応マニュアルが作成され、市民に広く防災知識を普及できた。今後は、防災に対する関心を更にも深めるとともに、今以上に地域防災体制の確立を図る必要がある。 多くの市民が交流活動を行う拠点施設が整備された。今後は、市民の文化、交流活動に寄与し、効率的な運用を図る必要がある。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 各区で行う防災訓練、市全体で行う防災訓練を実施するにあたり市報等での呼びかけの強化を図り、市民の防災意識の向上並びに地域防災力を向上させ、安全なまちづくりを進める。 秩父宮記念市民会館管理運営計画に基づき、市のHPや市報等により、市民会館での各種イベントや利用の促進の呼びかけの強化を実施し、利用者数の増加を図っていく。